

令和5年度

道民・利用者意見把握調査

結果報告書

令和6年4月



地方独立行政法人

北海道立総合研究機構

目 次

調査の趣旨、調査の対象・回答状況	2
1. 道民意見把握調査	3
2. 利用者意見把握調査【共同研究・受託研究】	9
3. 利用者意見把握調査【技術支援】	13
4. 利用者意見把握調査【知的財産】	17

【用語の説明】

○共同研究

技術の向上や製品開発等を希望する企業等からの依頼により、道総研と企業等とが知識・技術・ノウハウ等を持ち寄り、共同で行う研究

○受託研究

道以外の行政機関や企業、団体等の外部機関からの依頼により、契約又は寄附により実施する研究

○技術支援（対象：技術相談、技術指導、設備使用、技術開発派遣指導、課題対応型支援、研修生の受入、視察・見学）

これまでの道総研の研究成果や知見、公知の情報等を用いて、道総研の施設内または施設外において、技術的な問題の解決に向け実施する指導・支援

○知的財産

道総研が保有する特許権や実用新案権等

◆調査の趣旨

本調査では、道総研の第3期中期計画・年度計画（令和5年度）における「第2-3-(2)道民意見の把握及び業務運営の改善」を踏まえ、道民の皆様及び道総研の研究、技術支援、知的財産などの各種制度を利用された方から意見の聴取を実施しました。

調査結果は、業務の実施方法や運営の改善などへの反映に努めます。

◆調査の対象・回答状況

(1) 道民意見把握調査

対象者	道総研が実施したイベントに参加された 道民、事業者		道内市町村、各種団体	
調査方法	アンケートにより実施			
	配布先 ・道民向けイベント 公開デー、道民向けセミナー ・企業向けイベント 成果発表会、企業向けセミナー		配布先 ・市町村 市町村職員政策研修会 ・各種団体 ビジネス EXPO	
実施期間	令和4年11月～令和5年10月		令和5年11月	
回答数	道民向けイベント	企業向けイベント	市町村	関係団体
	618	691	97	47
	計 1,453			

(2) 利用者意見把握調査

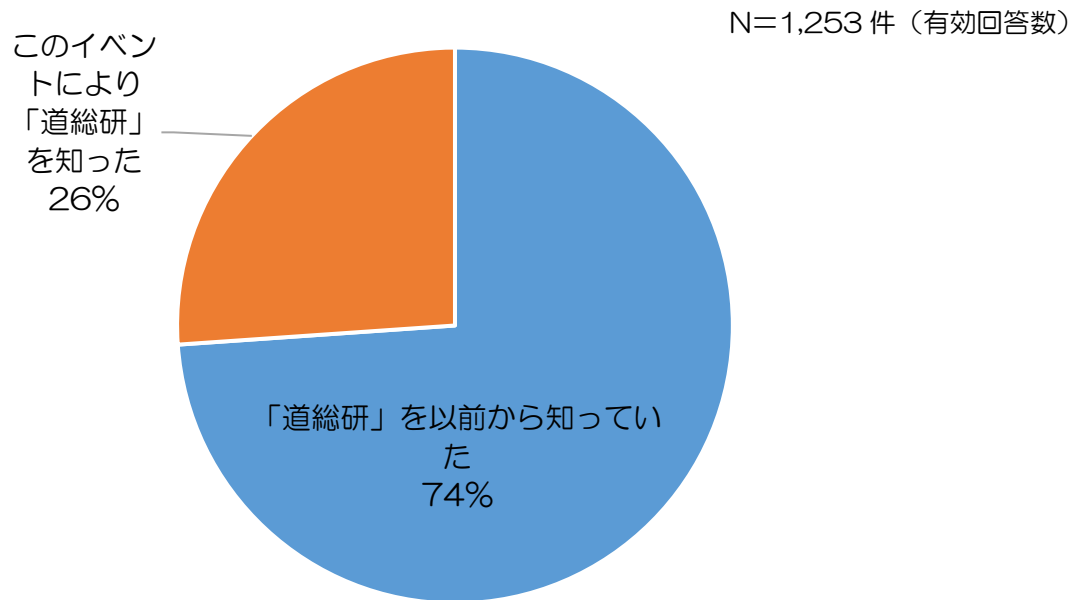
	共同研究・受託研究	技術支援	知的財産
対象者	令和4年度に道総研と共同研究・受託研究を実施した大学、企業、団体、独立行政法人 (令和5年度に継続して研究を行っている機関を含む)	令和5年度に道総研の技術支援制度(7項目)を利用された大学、企業、団体	調査開始月末時点において、特許等実施契約を締結している企業
調査方法	Web アンケートまたは直接送付により実施		
実施期間	令和5年7～9月	令和5年4月～12月	令和5年11月 ～令和6年1月
配布数	54		7
回答数	35	51	7
回答率(%)	65		100

※技術支援のアンケート配布数は未把握

1. 道民意見把握調査

【問1 「道総研」をご存知ですか。】

〔道民・企業向けイベント参加者〕

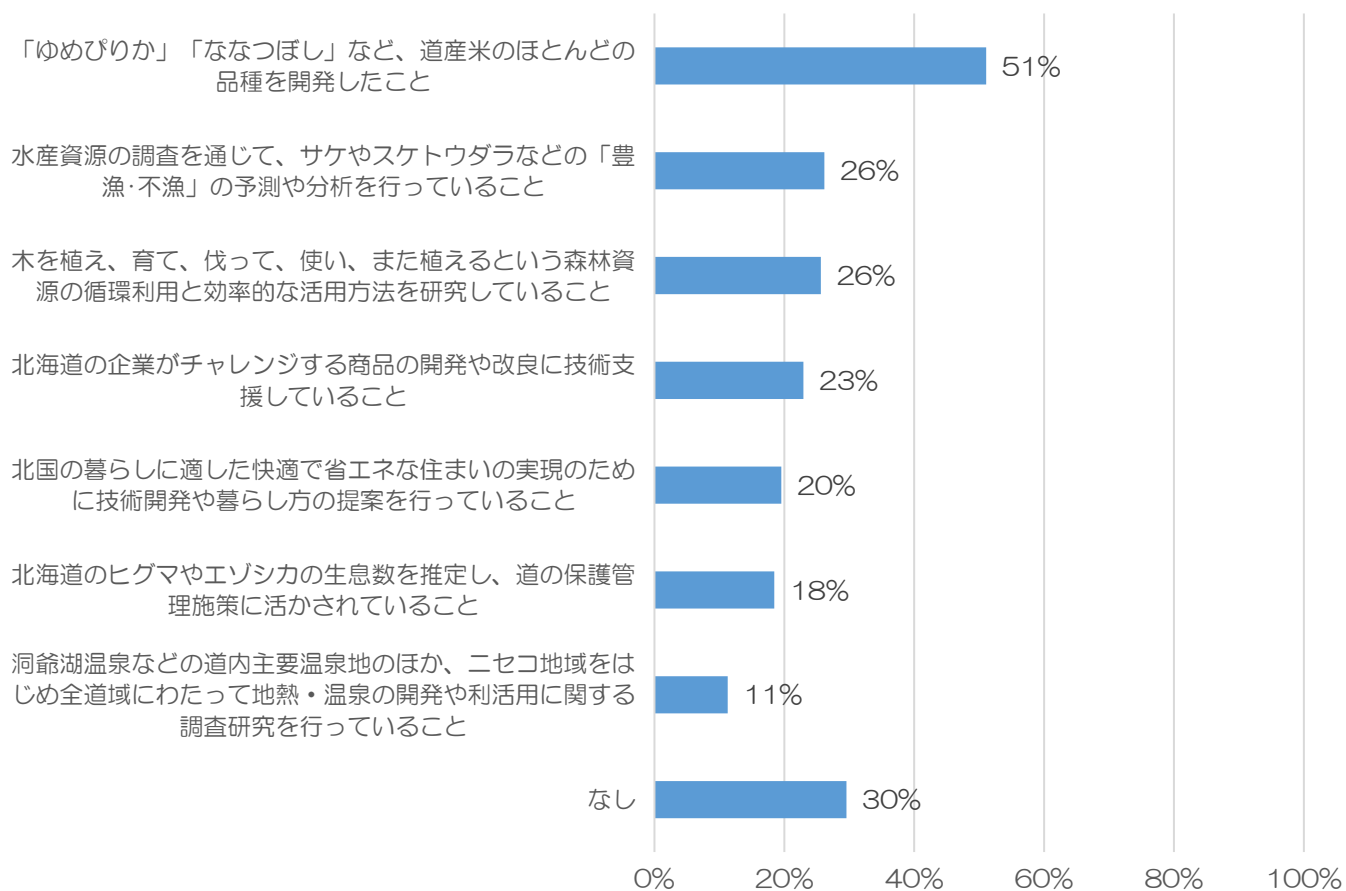


○ 「『道総研』を以前から知っていた」と回答した人の割合は、74%であった。

【問2 「道総研」の次の取組のうち、ご存知のものはありますか。(複数回答可)】

〔道民向けイベント参加者〕

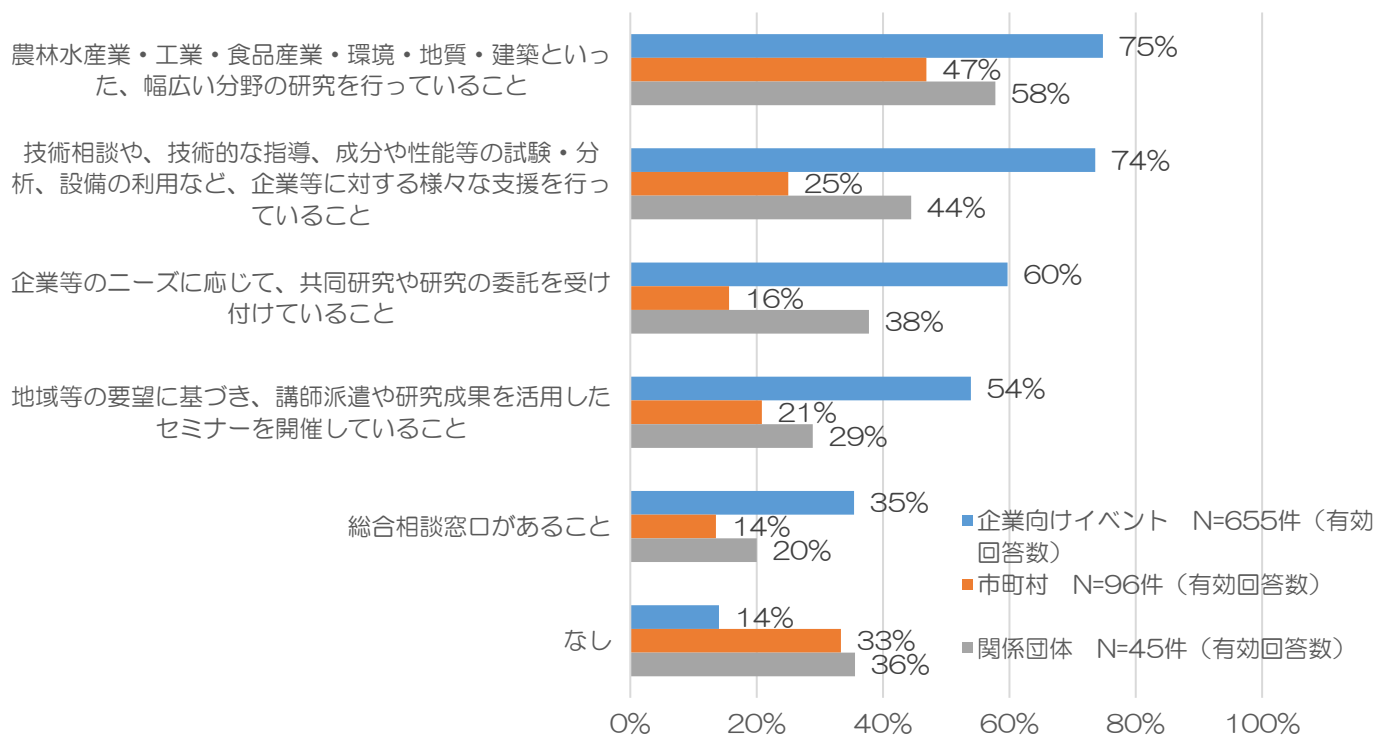
N=558件(有効回答数)



- 最も認知度が高い取組は、「道産米の品種開発」で、51%であった。
- 次いで、「豊漁・不漁」の予測・分析や「森林資源の循環利用」等に関する認知度がともに26%となった。
- 「いずれの取組も知らない」のは30%であった。

【問3 「道総研」の次の取組のうち、ご存知のものはありますか。(複数回答可)】

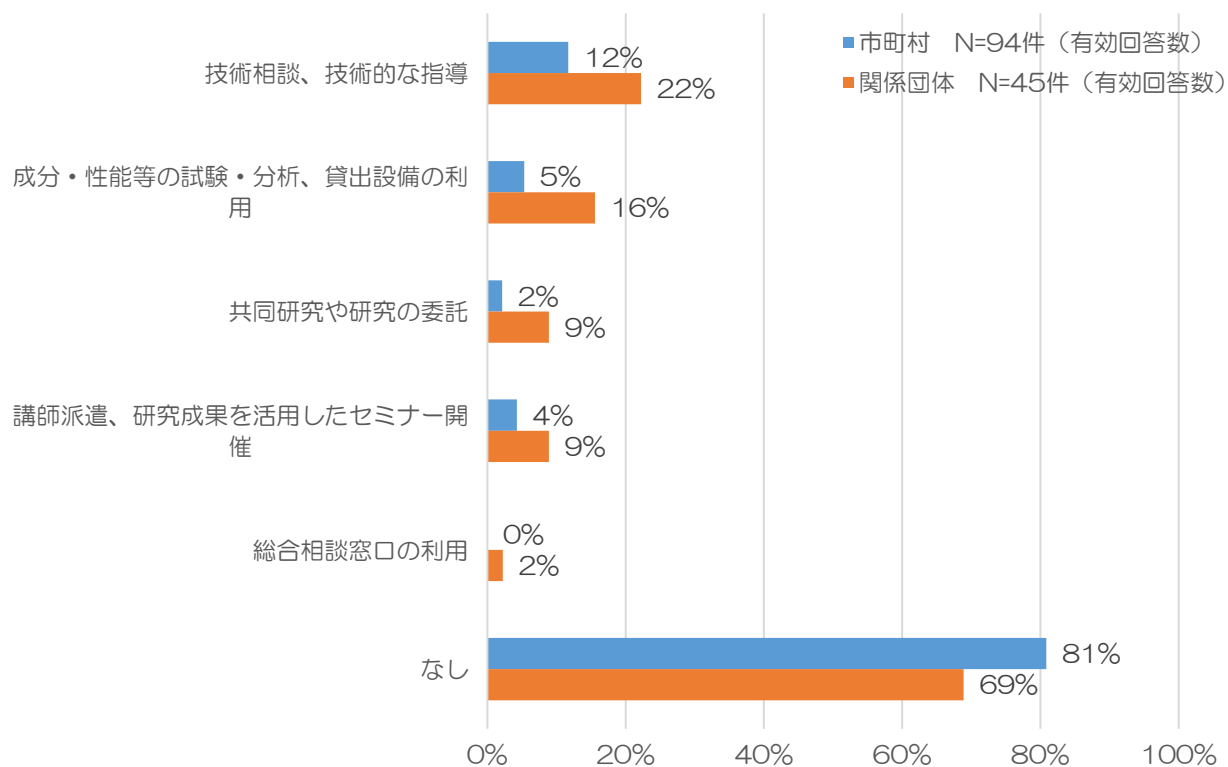
〔企業向けイベント参加者、市町村・関係団体〕



- 最も認知度が高い取組は、「幅広い分野にわたる研究」で、企業向けイベント来場者が 75%、市町村が 47%、関係団体が 58%であった。
- 「総合相談窓口があること」の認知度は、企業で 35%、市町村で 14%、関係団体で 20%にとどまった。

【問4 「道総研」の次の取組のうち、活用したことがあるものはありますか。(複数回答可)】

〔市町村・関係団体〕



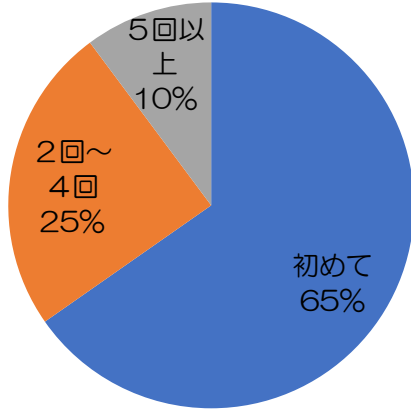
○ 最も活用したことがある取組は、「技術相談や技術的な指導」で、市町村が12%、関係団体が22%であった。

【問5-1 道総研のイベントに参加するのは、何回目ですか。】

〔道民・企業向けイベント参加者〕

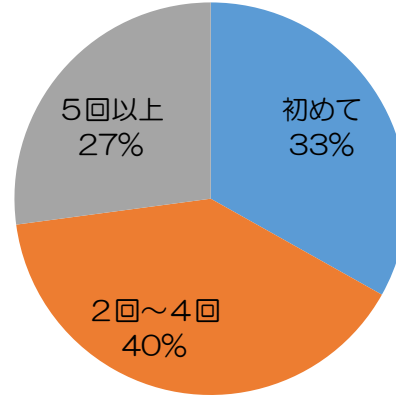
＜道民向けイベント＞

N = 579 件（有効回答数）



＜企業向けイベント＞

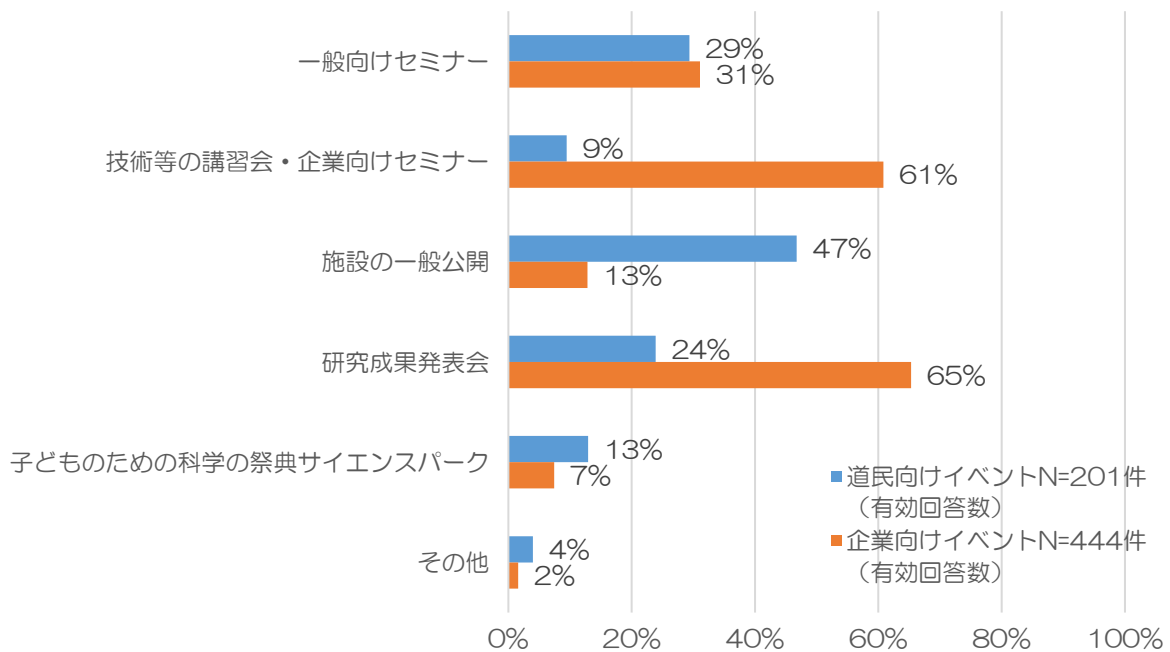
N=664件（有効回答数）



- 道民向けイベントの参加者は、「初めて」が65%で最も多かった。
- 企業向けイベントの参加者は、「2回～4回」が40%、「5回以上」が27%で、2回以上の参加者が「初めて」を上回った。

【問5-2 過去に参加したイベントはどれですか。（複数回答可）】

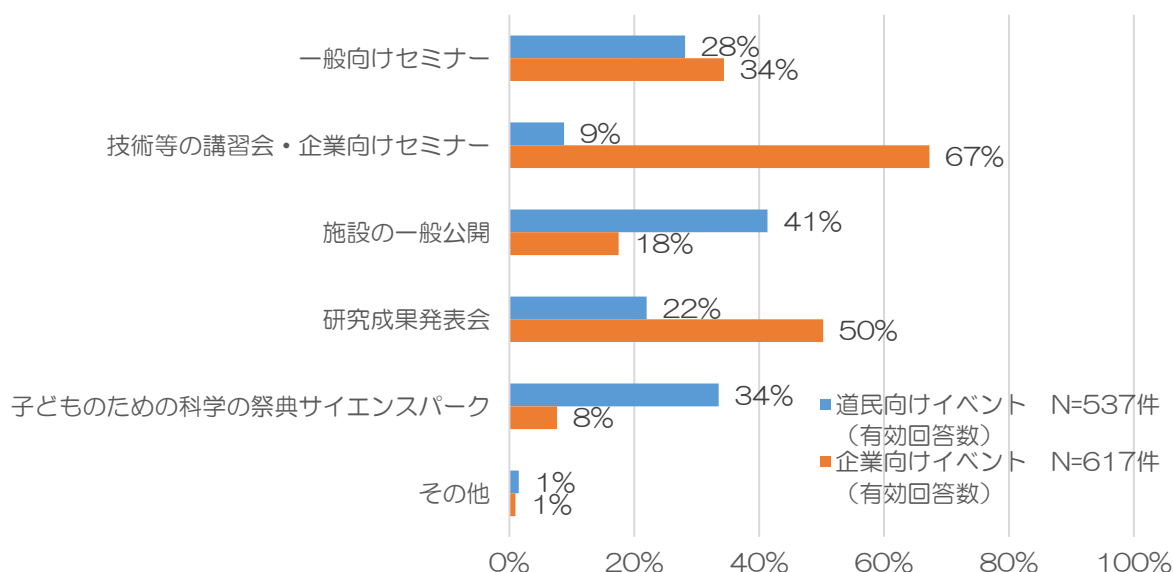
〔道民・企業向けイベント参加者〕



- 過去に参加したことのあるイベントについて、道民向けイベント参加者では「施設の一般公開」が47%、次いで「一般向けセミナー」が29%。企業向けイベント参加者では「研究成果発表会」が65%、次いで「技術等の講習会・企業向けセミナー」が61%であった。

【問6 どのようなイベントに参加してみたいですか。(複数回答可)】

〔各イベント参加者〕



- 「参加してみたい」とした方が最も多いイベントは、道民向けイベント参加者では「施設の一般公開」が41%、企業向けイベント参加者では「技術等の講習会・企業向けセミナー」が67%であった。

<参加してみたい理由等(抜粋)>

●一般向けセミナー

道民向け	子供の学習のため
	最先端の情報を分かりやすく知る機会として
	私でも参加しやすいようなので
企業向け	情報収集のため
	自身のレベルアップのため
	幅広い分野の専門知識が聞けそうなので

●施設の一般公開

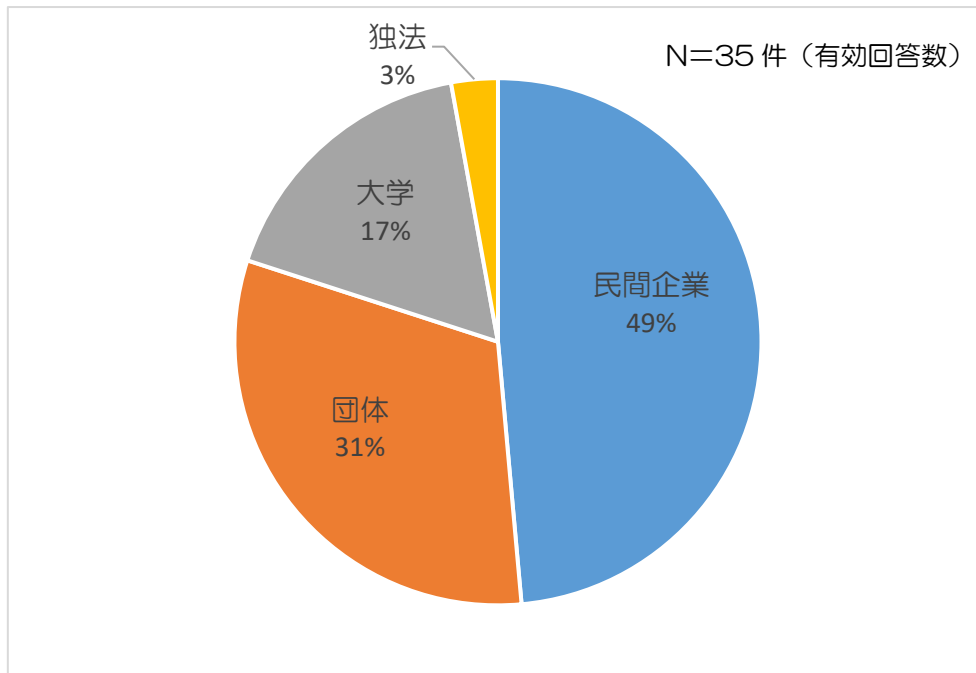
道民向け	施設の公開により取組が分かるから
	身近なところを楽しく学べるから
企業向け	研究員の方と直接意見交換ができる機会が持てそうなので
	実際の研究・試験施設や設備・実験等を見てみたい

●研究成果発表会

道民向け	自身の研究の知見に活かされるから
	最新の技術の知見を広げるため
企業向け	有益な最新知見が得られるため
	わかりやすい研究成果とその活用策について知ることができる

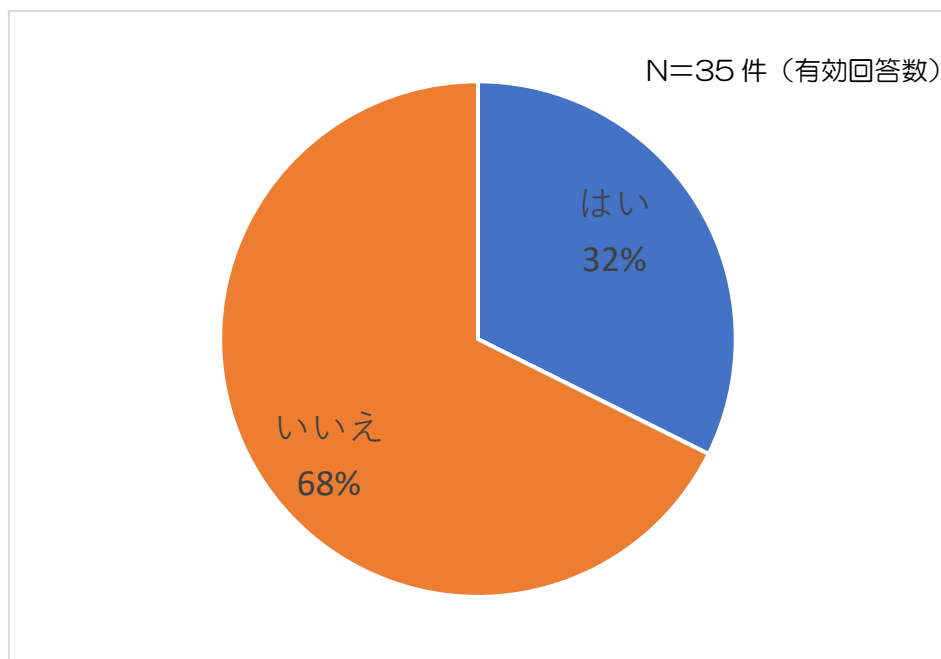
2. 利用者意見把握調査（共同研究・受託研究）

【回答者属性】



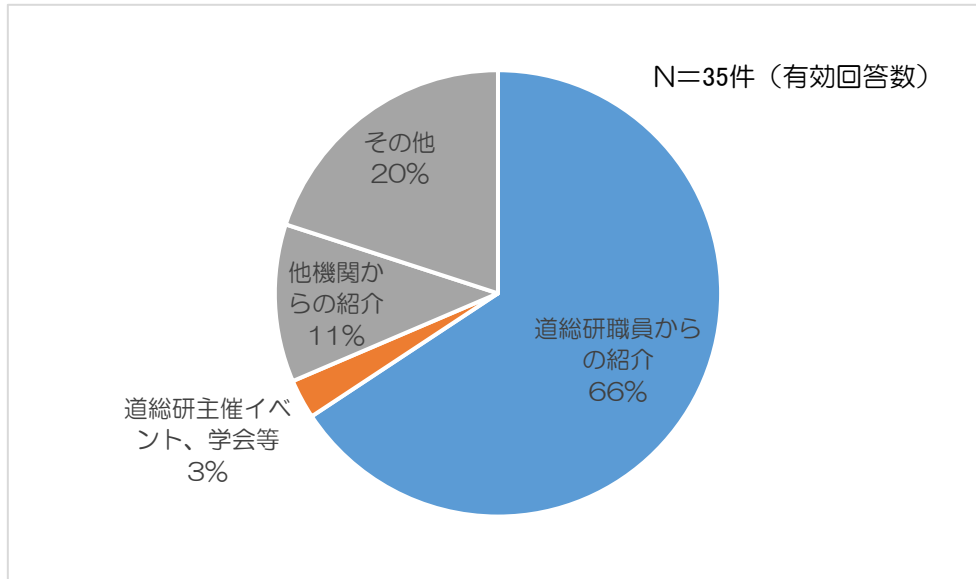
- 「民間企業」が49%（17機関）。次いで、協議会、工業会等の「団体」が31%（11機関）、「大学」が17%（6機関）、「独立行政法人」が3%（1機関）であった。

【問1 共同研究・受託研究を行ったのは初めてですか？】



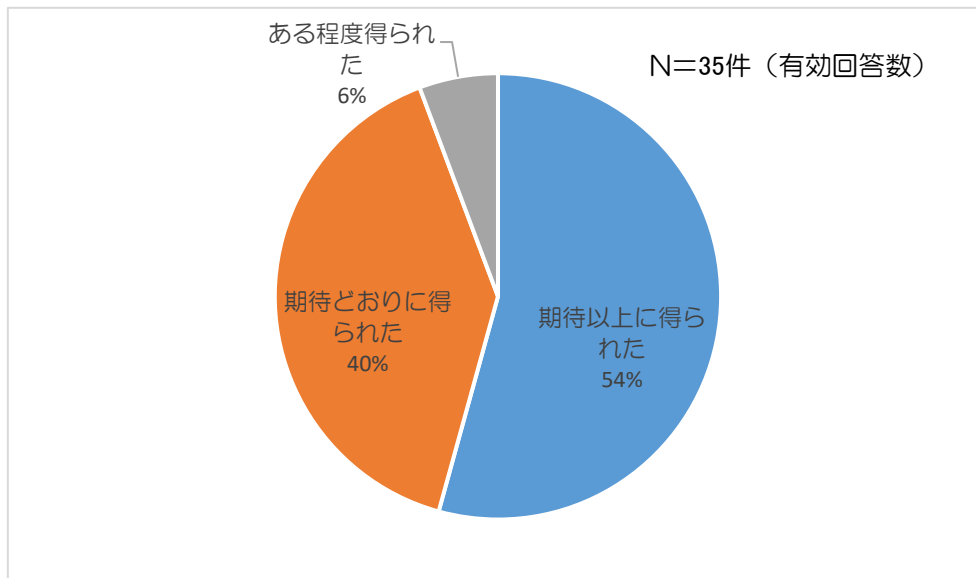
- 過去に共同研究、受託研究を行ったのは、68%（23機関）であった。

【問2 道総研が共同研究・受託研究を受け入れていることを知ったきっかけは何でしたか？】



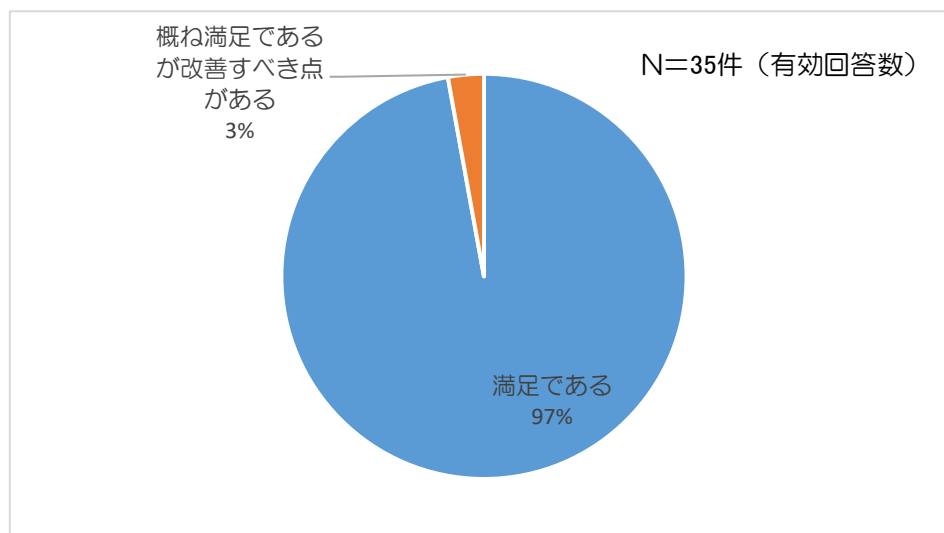
- 「道総研職員からの紹介」が66%（23機関）であった。次いで、「その他」が20%（7機関）、「他機関からの紹介」が11%（4機関）、「道総研主催イベント、学会等」が3%（1機関）であった。
- 「その他」の内容は以下のとおり
「元道総研職員」、「元普及指導員や元大学教授」、「既に共同研究を行っていた同僚」、「説明会」を通じて知った。

【問3 今回の共同研究・受託研究で期待した成果が得られましたか？】



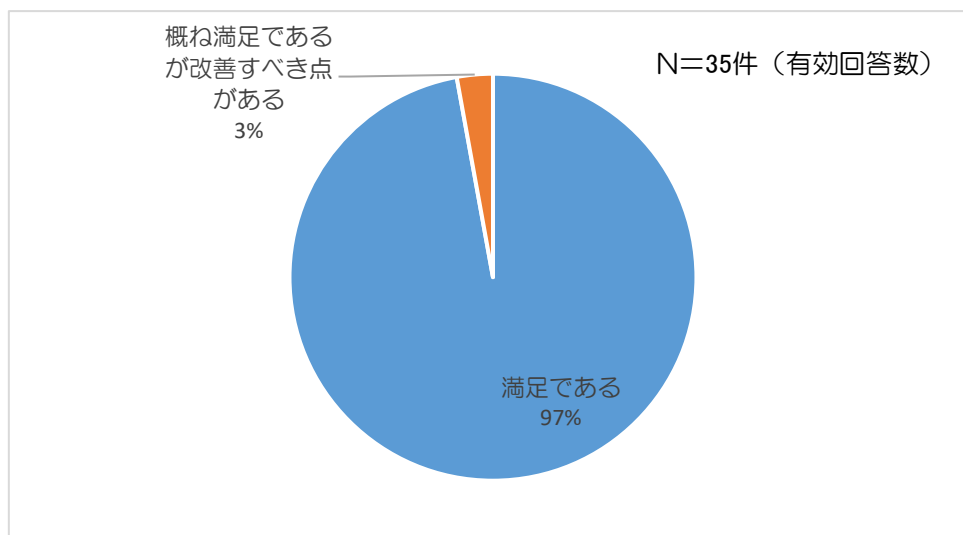
- 「期待以上に成果が得られた」が54%（19機関）、「期待どおりに成果が得られた」が40%（14機関）であり、あわせて94%（33機関）であった。
- 「あまり得られなかった」、「得られなかった」との回答はなかった。

【問4 共同研究・受託研究に関する契約事務（事前打合せ～締結）はいかがでしたか？】



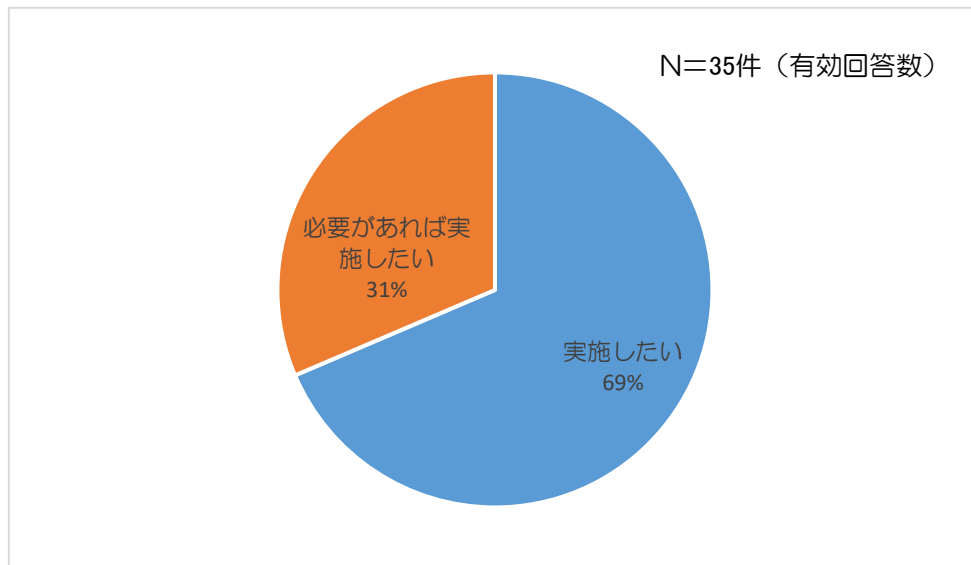
- 「満足である」が 97%（34 機関）、「概ね満足であるが改善すべき点がある」が 3%（1 機関）で、「担当した事務職員について、連絡に関する不備や作業の遅延が認められた。」との意見があった。
- 「不満である」との回答はなかった。

【問5 共同研究・受託研究における打合せ・進捗状況報告・成果報告など道総研とのコミュニケーションはいかがでしたか？】



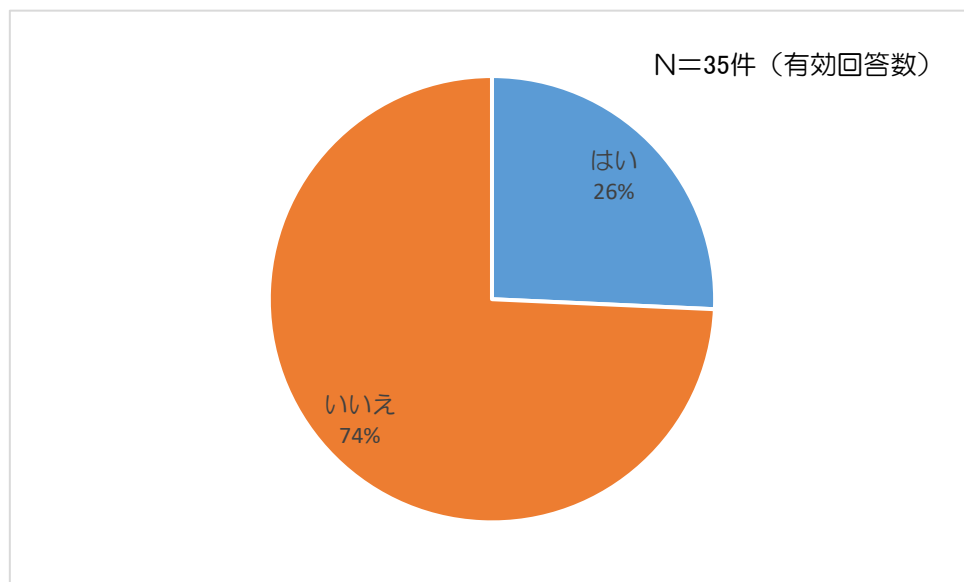
- 「満足である」が 97%（34 機関）で、「概ね満足であるが改善すべき点がある」が 3%（1 機関）で、「コロナという事もあったが打合せ回数が少なかった。」との意見があった。
- 「不満である」との回答はなかった。

【問6 今後も、道総研の研究機関と共同研究・受託研究を実施したいと思いますか？】



- 「実施したい」が69%（24 機関）で、「必要があれば実施したい」が31%（11 機関）となった。
- 「実施したいとは思わない」との回答はなかった。

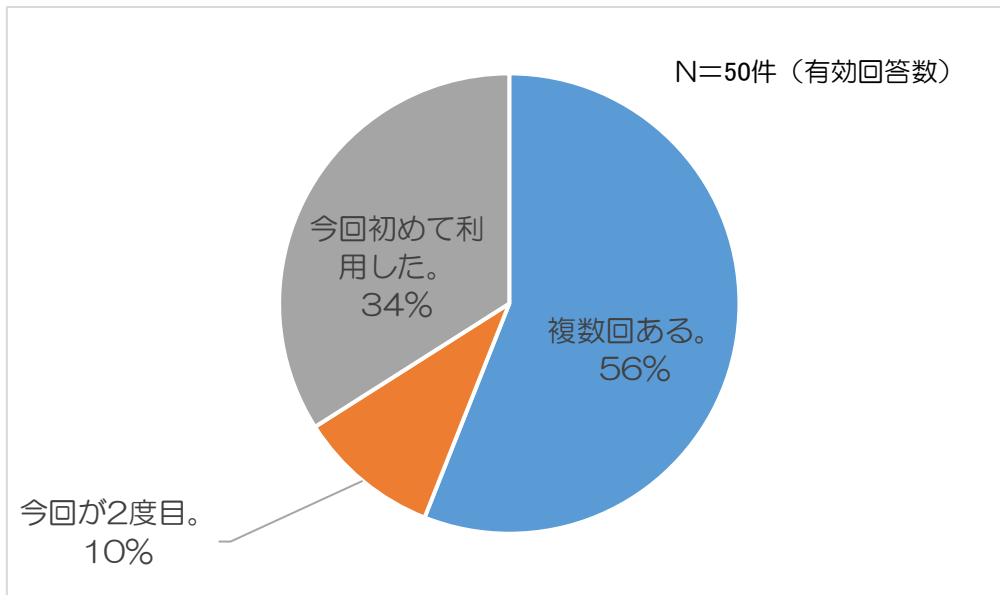
【問7 道総研の研究機関と共同研究・受託研究について他の方にご紹介されたことはありますか。あるいは興味を持っている方はいらっしゃいますか。】



- 「いいえ」が74%（26 機関）であった。
- 「はい」が26%（9 機関）であった。

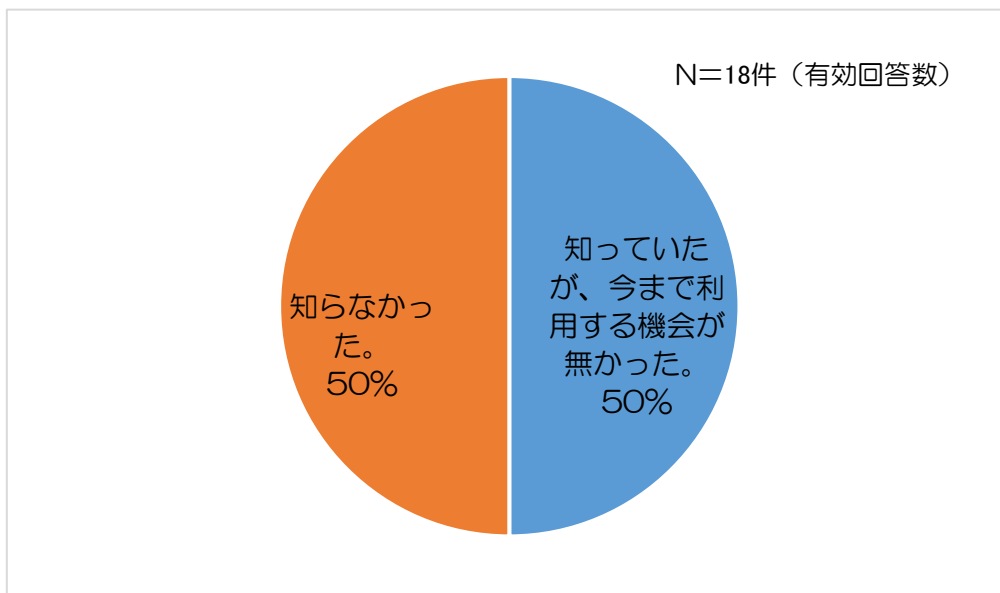
3. 利用者意見把握調査（技術支援）

【問1 今までも、道総研の各種技術支援制度を利用したことがありますか？（利用経験）】



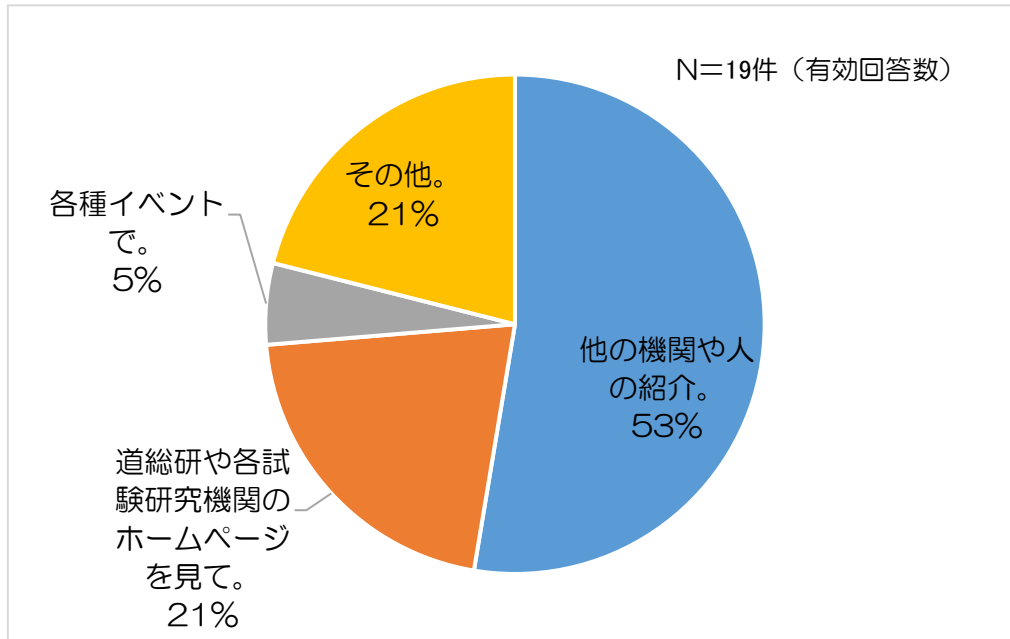
○ 「複数回ある」が56%（28件）であった。次いで、「今回初めて利用した。」が34%（17件）、「今回が2度目」が10%（5件）であった。

【問2 今回初めて利用された方は、以前から道総研をご存知でしたか？（認知）】



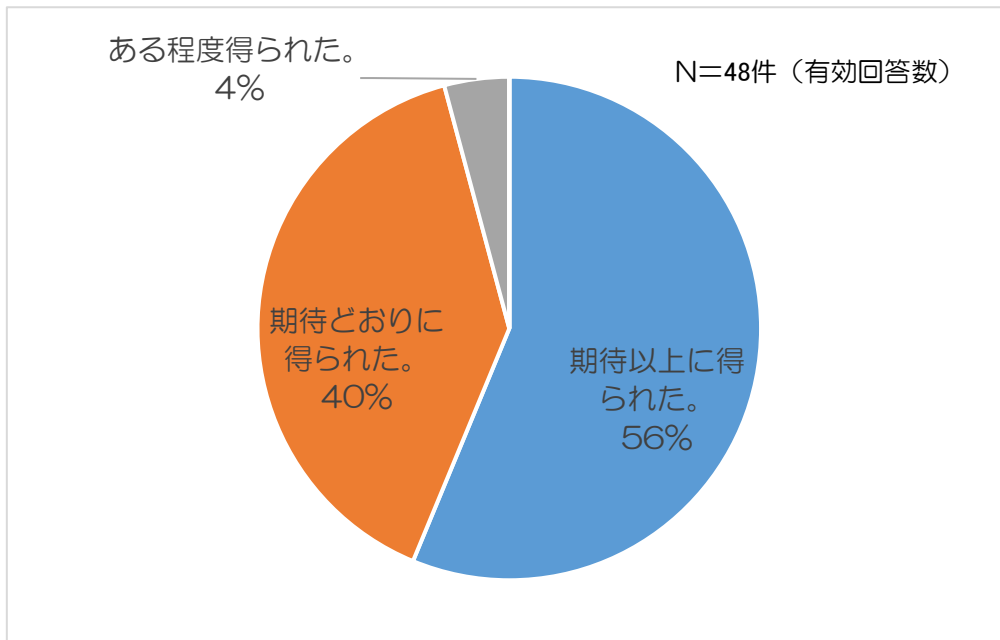
○ 「知っていたが、今まで利用する機会が無かった」、「知らなかった」がそれぞれ50%（9件）だった。

【問3 道総研をご存知なかった方は、何でお知りになりましたか？】



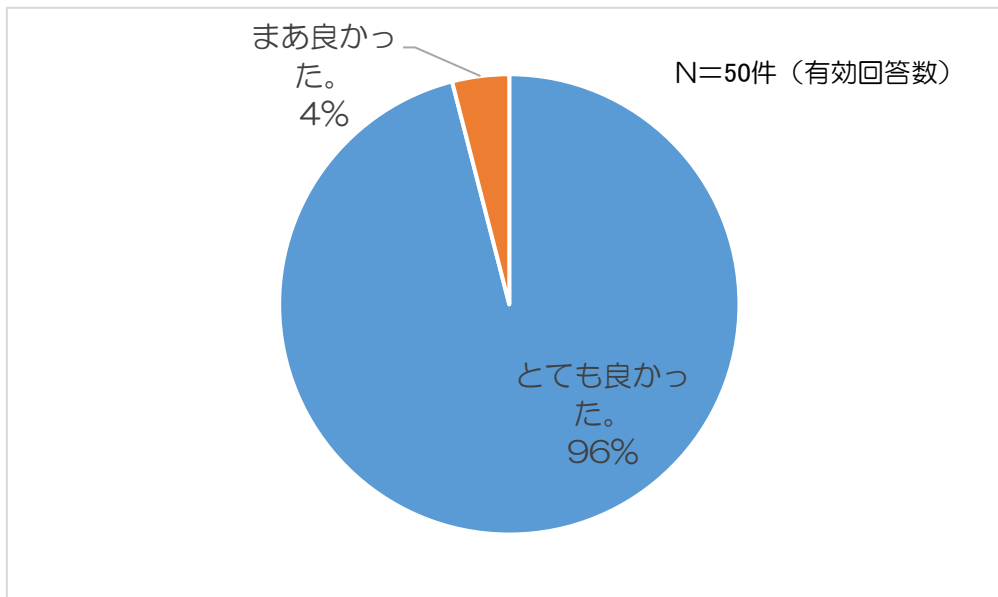
- 「他の機関や人の紹介」が最も多く53%（10件）であった。次いで、「道総研や各試験研究機関のホームページを見て」が21%（4件）、「各種イベントで」が5%（1件）、「その他」が21%（4件）であった。
- 「その他」の内容は以下のとおり
 - ・床衝撃音試験に関する論文を見て（視察・見学の申込み・北総研）
 - ・意見交換会（視察・見学の申込み・食加研）がきっかけ

【問4 今回の技術支援につきまして、満足のいく支援が得られたと思いますか？（評価）】



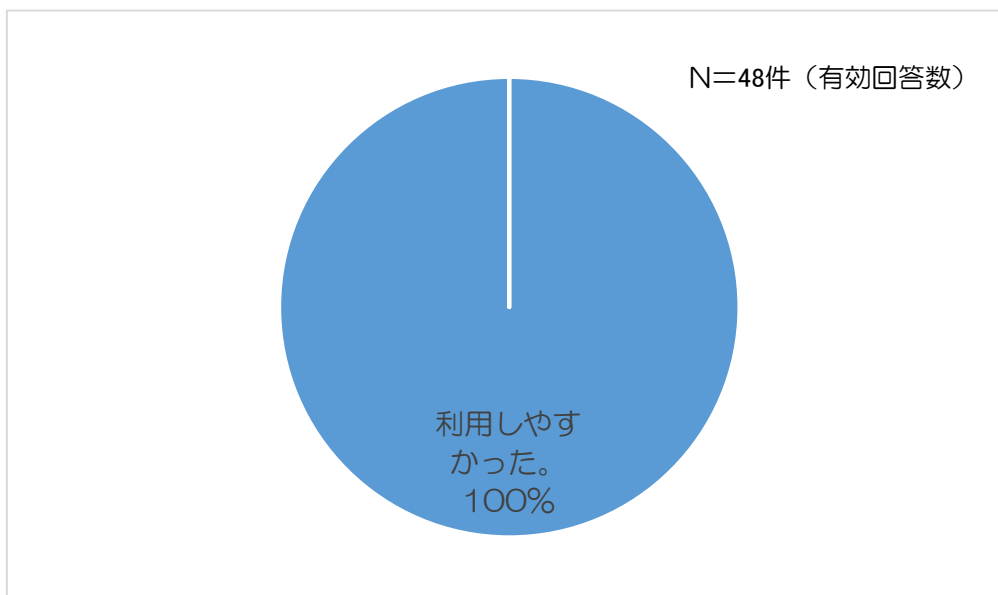
- 「期待以上に得られた」が56%（27件）、「期待どおりに得られた」が40%（19件）、「ある程度得られた」が4%（2件）であった。
- 「あまり得られなかった」、「得られなかった」との回答はなかった。

【問5 職員の対応はいかがでしたか？（職員対応）】



- 「とても良かった」が96%（48件）、「まあ良かった」が4%（2件）であった。
- 「普通だった」「あまり良くなかった」「良くなかった」との回答はなかった。

【問6 ご利用された技術支援について、受付方法や手続き等、利用しやすさはいかがでしたか？（改善要望）】

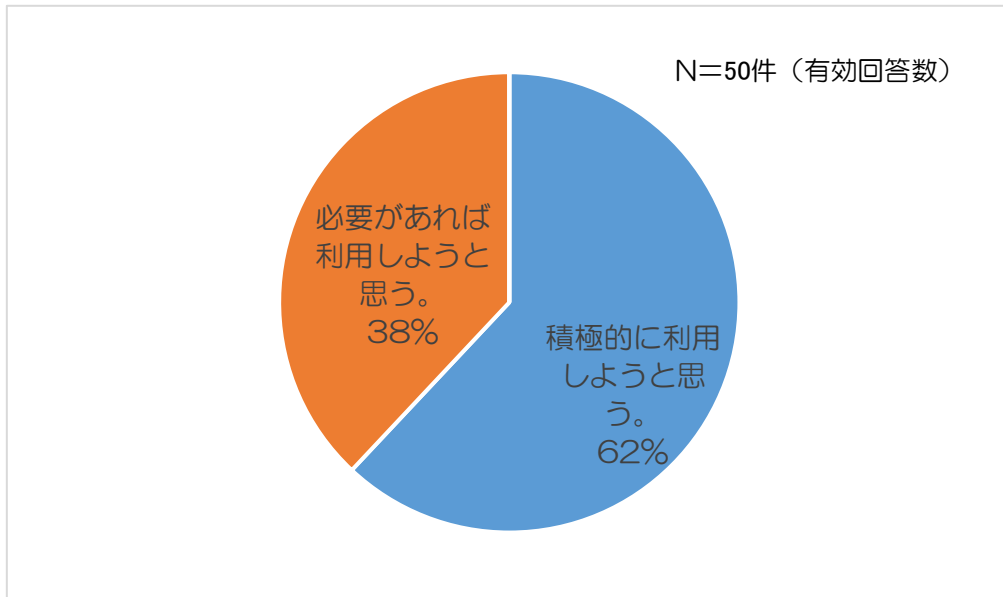


- 「利用しやすかった。」が100%（48件）であった。
- 「利用しにくい点があった」、「利用しにくかった」、「改善すべき点がある」との回答はなかった。

【問7 問6で、利用しにくい点・改善すべき点は何ですか？】

- 回答なし

【問8 今後も、道総研を利用しようと思いますか？（継続利用）】



- 「積極的に利用しようと思う」が62%（31件）、「必要があれば利用しようと思う」が38%（19件）であった。
- 「あまり利用しようと思わない」「多分利用しないと思う」との回答はなかった。

4. 利用者意見把握調査（知的財産）

【問1 現在ご利用の知的財産権はどのように知りましたか（新規契約先）】

N = 5件（有効回答数）

項目	件数
①共同研究	1
②成果発表会	0
③イベント	0
④道総研HP	2
⑤他機関からの紹介	0
⑥その他	2

- 「道総研HP」、「その他（道総研担当者の紹介、新聞）」がそれぞれ40%（2件）で、「共同研究」は20%（1件）であった。

【問2 知的財産を利用して満足いく成果が得られていますか（新規契約先）】

N = 5件（有効回答数）

項目	件数
①期待以上	2
②期待どおり	2
③ある程度	1
④あまり得られていない	0
⑤得られていない	0

- 「期待以上に得られている」、「期待どおりに得られている」がそれぞれ20%（2件）で、「ある程度得られている」は20%（1件）であった。

【問3 知的財産権を利用して満足いく成果が得られましたか（契約満了先）】

N = 4件（有効回答数）

項目	件数
①期待以上	0
②期待どおり	1
③ある程度	1
④あまり得られなかった	0
⑤得られなかった。	0
⑥その他	2

- 「期待どおり得られている」、「ある程度得られている」がそれぞれ25%（1件）であった。
○ 「その他」50%（2件）の、内容は以下のとおり
- ・ 漁業者の期待に沿った商品を提供できた
 - ・ 弊社の知名度は上がったが、製作に予想以上の手間がかかった

【問4 契約満了となった実施契約について、契約を更新しなかった理由を教えてください（契約満了先）】

N = 4件（有効回答数）

項目	件数
①販売・サービスの終了	2
②代替技術の導入	0
③計画どおりに進まなかった	0
④契約条件が不満	0
⑤その他	2

- 「販売・サービスの終了」、「その他」がそれぞれ50%（2件）であった。
- その他の内容は以下のとおり
 - ・製作に使用した部材の入手が困難になった。

【問5 手順の進め方（打ち合わせなど）について（新規契約先・契約満了先）】

N = 7件（有効回答数）

項目	件数
①満足	5
②まあ満足	2
③やや不満	0
④不満	0

- 「満足」が71%（5件）で、「まあ満足」が29%（2件）であった。
- 「やや不満」、「不満」との回答はなかった。

【問6 契約条件について（新規契約先・契約満了先）】

N = 7件（有効回答数）

項目	件数
①満足	5
②まあ満足	2
③やや不満	0
④不満	0

- 「満足」が71%（5件）で、「まあ満足」が29%（2件）であった。

【問7 実施契約に関する事務について（3）利用しにくい点や改善点について】

- 回答なし

【問8 道総研が保有する知的財産について、より利用しやすいものにするために必要なこと】

N = 7件（有効回答数）

項目	件数
①PR活動	5
②契約事務の簡素化	0
③契約条件の見直し	0
④フォローアップ	2
⑤その他	0

- 「PR活動」が71%（5件）で、「知的財産権の利用に対するフォローアップ」が29%（2件）であった。